

2021年度 第1回 援助会員養成講座のご案内

会場：松阪市嬉野ふるさと会館多目的ホール（松阪市嬉野権現前町 423-88）  
 対象：松阪市内及び近隣市町に在住する20歳以上の方  
 募集人数：30名（先着順）  
 受講料：無料（但しテキスト代2,200円が必要となります）  
 託児：無料（必要な方は、2021年6月23日（水）までにお申し込みください。（お茶など飲み物をご持参ください）



月日	時間	内容	講師
6月30日(水)	10:00~10:10	オリエンテーション	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
	10:10~12:10	①保育サポーターの役割と心得	(特) 松阪子どもNPOセンター 塩谷 明美
	13:10~13:40	②松阪市の子育て支援サービスの現状	松阪市健康福祉部こども局こども支援課 ことほ 保良 大滝 和則
	13:50~15:50	③保育の心	子育て支援アドバイザー 堀川 美子
7月6日(火)	9:30~12:30	④心の発達と障害について	高田短期大学子ども学科 教授 山口 昌澄
	13:30~15:00	⑤乳児の暮らしとケア	松阪市嬉野保健センター 保健師 藤井 沙也加
7月8日(木)	10:30~12:30	⑥子どもの遊び	ユマニテク短期大学幼児保育学科 教授 山野 栄子
	13:30~16:30	⑦身体の発育と病気	イワサ小児科 理事長 岩佐 敏秋
7月10日(土)	9:30~12:30	⑧子どもの栄養と食生活	元三重中京大学食物栄養学科 教授 馬場 啓子
	13:30~16:30	⑨小児看護	(株) ジェネラス訪問看護ステーション ほたるいせ管理者 岡田 まり
7月14日(水)	9:30~12:30	⑩子どもの事故と安全・幼児救急法	日本赤十字社三重県支部 富内 直美
	13:30~14:00	⑪事業を円滑にすすめるために	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
	14:00~16:30	⑫講座を振り返って	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー

まつさか  
ファミリーサポートセンター  
のしくみ

援助できる内容  
 保育園、小学校、学童保育、習い事等の送迎 / 保育園等の開始前や終了後の預かり  
 保護者のリフレッシュの際の預かり / 保護者の病気や外出の際の預かり / 軽い病児、病後児の預かり等



依頼会員

松阪市及び、近隣市町に在住または、松阪市内に通勤通学するおむね4カ月～小学校6年生のお子様をお持ちの方

利用するには…

- ①入会申込書に必要事項を記入し、登録してください。（登録料は無料です）
  - ②依頼会員とその条件に合う援助会員（2～3名）がお子さんを交え事前の顔合わせをします。
- ※①②を済ませておけば、依頼することができ、いざという時にも安心です。  
 ※援助活動中の万が一の事故に備え、補償保険に加入しています。

まつさかファミリーサポートセンター  
 TEL・FAX 0598-20-8246  
 mfsc@mknpo.jp  
 http://www.mknpo.jp/mfsc/  
 〒515-0084 三重県松阪市日野町788カリヨンプラザ1階  
 (特) 松阪子どもNPOセンター内  
 開所時間 月～金 / 8:30～19:00(土日祝日・年末年始は休み)

詳しくは携帯でアクセス!!



※1時間あたり

利用料金は…	通常	緊急・病児
平日 7:00～19:00	700円	1,000円
平日の上記以外の時間 および土、日、祝日	800円	1,200円
年末年始(12/29～1/3)	1,000円	1,400円

宿泊の利用料金(1回あたり)

22:00～6:00(連続8時間)	5,000円
年末年始(12/29～1/3) 22:00～6:00(連続8時間)	7,000円



あなたの子育て応援します!  
**ファミサポ通信**

発行元：まつさかファミリーサポートセンター

2021  
 \*6月号\*  
 vol.36

ほっとタイム



依頼会員の声

小学校入学時より、学童保育から自宅への送迎を依頼しています。1年生という新しい環境になり、共働きの我が家では生活に慣れるまで大変でした。そのような中で、援助会員さんには本当にお世話になり助けられました。30分弱の時間ですが、学校であったことや将来の事など沢山話をさせて頂き、子どももとても楽しそうなお返りで帰ってきます。自宅に到着しても、もう少し車内で話したいと援助会員さんを困らせてしまう時もあったようです。



援助会員の声

援助活動はY君が小学校に入学してからの、学童保育から自宅までの送迎です。ピカピカの1年生、少し緊張してるかな? 「九九言うから聞いて」「サッカーで点数を入れたよ」「家に帰ったら楽しいことがある」など、嬉しそうに学校や友達、家族や夢の話をしてくれます。そんな会話を活動記録に書いています。短い時間ではありますが、成長を感じる楽しいひと時です。素直で挑戦心豊かなお子さん。ご家族もY君の成長を温かく見守られており、ご両親ご協力のもと、安全に送迎の援助活動ができることにほっとしています。



依頼会員 S.K.

アドバイザーがインタビュー

援助会員の声

一昨年孫が誕生し、わが娘も東京で支援をお願いしている様です。私はこの松阪の地で何らかのお手伝いが出来ないかと思い、援助会員養成講座を受講しました。どの講義も大変有意義な内容で、遠い昔の子育て真っ最中の頃に聞かせて頂いていたら、3人の子も達ももっと違った、すばらしい大人になっていたかもしれません。援助させて頂くお子さんを自分の孫のように思い大切にお預かりしていきたいと思っています。



援助会員 T.T.

援助会員 N.S.

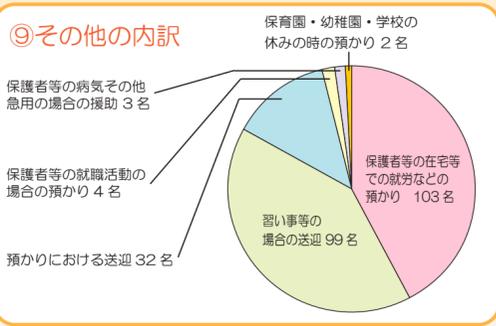
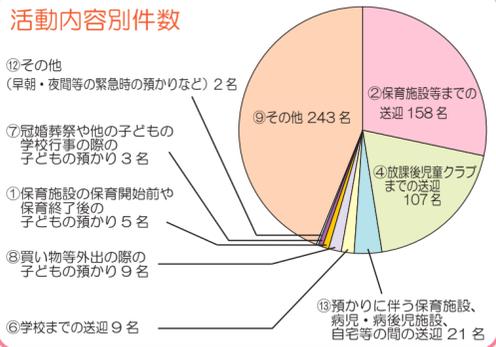
昨年2月に援助会員になられたSさん。同年8月に3才になるお子さんの預かり援助をお願いしました。初めての援助活動ということで、「どんなお子さんかな」「なじんでくれるかな」など不安な気持ちもあったそうですが、Sさんをニックネームで呼んだり、ご主人にも人見知りなく笑顔で接する様子に、ご自身のお孫さんが大きくなった姿を重ねられたそうです。ご近所でも子どもは少なくなり「小さなお子さんと過ごせる貴重な時間でした。」と話されました。Sさんのお話を聞き、世代の離れた会員さんのご家族が交流することの温かさ、地域の方たちがあつらえあつたことの大切さを感じました。これからもファミリーサポート事業をとおし、その輪を広げていきたいと思っています。

まつさかファミリーサポートセンターは(特)松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています

# 2020年度活動報告

## 援助活動一覧表

活動内容	今年度
① 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	5
② 保育施設等までの送迎	158
③ 放課後児童クラブ開始前や終了後の子どもの預かり	0
④ 放課後児童クラブまでの送迎	107
⑤ 学校の始業前や放課後の子どもの預かり	9
⑥ 学校までの送迎	0
⑦ 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	3
⑧ 買い物等外出の際の子どもの預かり	9
⑨ その他	0
・ 習い事等の場合の送迎	99
・ 保育園・幼稚園・学校の休みの時の預かり	2
・ 妊娠・出産時の預かり	0
・ 保護者等の就職活動の場合の預かり	4
・ 保護者等の在宅等での就労などの預かり	103
・ 保護者等の病気その他急用の場合の援助	3
・ 上記5項目に伴う送迎	32
⑩ 病児・病後児の預かり	0
⑪ 宿泊を伴う預かり	0
⑫ その他（早朝・夜間等の緊急時の預かりなど）	2
⑬ 上記に伴う保育施設、病児・病後児施設、自宅等への送迎	21
合計活動件数	557
キャンセル回数	110



今年度の援助活動件数は557件で、昨年に比べ約半数でした。1番多く利用された内容は、放課後児童クラブ、保育園、習い事への送迎や預かりに伴う送迎などで、全体の74%を占めています。2番目は保護者の就労などの預かりで18%でした。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が様々な所に色濃く出た1年でした。皆が初めての経験だったので、当初は警戒しすぎることもありましたが、

ファミリーサポートセンターとしては4月～6月までは、密を避けるために人員を減らしながら開所し、学校休校のため子どもがいるスタッフには、家にいてもらうようにしました。援助活動自体も9月くらいまでは動きが止まったかのように依頼が少なく、利用を控えておられることが感じられました。年明け頃から入会が少しずつ増え、援助活動もかなり以前に近づいてきたのではないかと思います。

その中でも、援助会員養成講座はコロナ対策を万全にしていたものの、開催には不安がありましたが、例年とあまり変わることなく受講していただき、講師の先生方もリスクのある中いつも同じように来てくださり、活動を続けていくことの大切さを実感しました。会員の皆さんには県外へ出た場合1週間の活動自粛や、検温をはじめとする健康管理、車や部屋の消毒などの環境整備をお願いし、お陰様で活動中での感染はありませんでした。コロナをきっかけに、私たちが何をすべきか考える機会になりました。今後も子どもと子育て家庭に地域の中で直接関わっていくことで、「大丈夫ですよ」と安心できる環境を作っていきたいと思っています。

- ▶▶ 依頼会員 398人
- ▶▶ 援助会員 224人
- ▶▶ 両方会員 29人
- ▶▶ 合計 651人

## 援助会員養成講座

今年度はコロナ対策の徹底に留意しながらの開講となり、急遽オンラインでの講義になった講座もありました。孫育てに役立てたいという男性、子どもの居場所作りに意欲のある男性の参加もありました。地域で子どもと関わりながら更に何か出来る事があればという方、リタイヤした仕事の経験を生かして子ども支援に役立てたいという方、主婦としての子育て経験を生かして社会貢献したいという方など、皆さん熱意をもって受講していただきました。子育て中のお母さんは託児を利用して受講され、初めて親子が離れて過ごす体験にもなったようでした。講義では各分野の詳しい知識や子育ての現状に触れ、新しい発見や実感をいただいた様子でした。今後は地域での子育てと一緒に関わっていただきたいと思います。

**第1回**

6/30、7/2、7/5、  
7/9、7/14、8/7

参加者  
新規13名  
再受講8名

**第2回**

1/23、1/28、1/30、  
2/4、2/6

参加者  
新規12名  
再受講5名



## ステップアップ研修会

『子どもたちに性の問題を正しく伝えるために』講師：金丸産婦人科院長 金丸恵子さん  
『子ども虐待』講師：元三重県児童相談センター所長 鈴木聡さん

今年度もチャイルドヘルプラインMIEネットワーク「子ども支援者養成講座」をステップアップ研修に位置付けて開催しました。今年度は新型コロナウイルス対策として、津の会場での受講ではなく松阪でビデオ受講をし、その後講座について話し合いました。

## ステップアップ講座

災害が起きる前に何をしておくべきかを学ぼうと、防災士で4才からの子ども料理教室「だんだんキッチン」代表の大須賀由美子さんを迎え、「災害から子どもたちを守るために」と題して講座を開きました。災害時での調理の実演や、ハザードマップを使っての避難所確認、そして阪神淡路大震災での大須賀さんの体験を聴くなどし、防災に関する知識や心構えを知ることが出来ました。グループディスカッションでは「避難経路を具体的に確認できた」「水害と地震で逃げる方向が違う」「災害時でも活用できる食材や調理方法を日々の暮らしに取り入れたい」「男性でも調理できる内容で参考になった」などの声が聞かれました。援助中に災害が起きた時の対応や、センターにおける防災体制の不備など、講座を通して気づいた事を今後改善していきたいと考えています。

## 交流会

「保育の心」と題して、子育てアドバイザーの堀川美子さんにお越しいただきました。前半は親子でわらべうたや紙芝居、スカーフを使った遊びでたっぷり遊び、みんなで楽しい時間を過ごしました。後半は援助会員が子どもを預かり、お母さんだけで堀川さんのお話を聞きました。いやいや期と言われる時期は自我が芽生え、自分自身の力を発揮したい時期なので大人は子どものペースに合わせて待ったり、気持ちを聴くことで心が満たされ自信につながると思います。参加されたお母さん同士の意見交換や堀川先生に日々の子育てに関する悩みを聞いてもらい、スッキリした表情で帰られる方もありました。コロナ過で、子育て中の悩みを共有したり、相談できる場が少なくなっているため、このような場が必要だと感じました。

